ニューヨーク補習授業校だより

絆・きずな

平成31（2019）年
3月2日発行
第３８号

夢のふくらむ学校

ＬＩ校

２３日保護者会主催で、中島さち子氏による「世界が注目する最先端の教育メソッド『ＳＴＥＡＭＳ教育』、日本における先駆者による徹底解説」と題した講演会が開催されました。講師の中島氏は、昨年より東京大学大学院数理科学研究所特任研究員のフルブライト留学生として、ＮＹＵで研究活動に当たっておられます。

現地校では、オバマ大統領が主唱した「ＳＴＥＭ教育（科学・技術・工学・数学）」が導入されているところですが、中島氏は、さらに芸術とスポーツを取り入れた「ＳＴＥＡＭＳ教育」を推進されています。それらの６領域を複合的・横断的に関わらせることによって、複雑な問題解決能力、クリティカル思考、創造力を育んでいこうとする教育の考え方です。次年度日本の小学校で完全実施予定の新学習指導要領にある、「主体的・対話的で深い学び」がやや抽象的な印象ですが、この「ＳＴＥＡＭＳ教育」の理念は、そのまま教える教育から子どもの主体的な学びを保障する教育に当てはまると思いました。

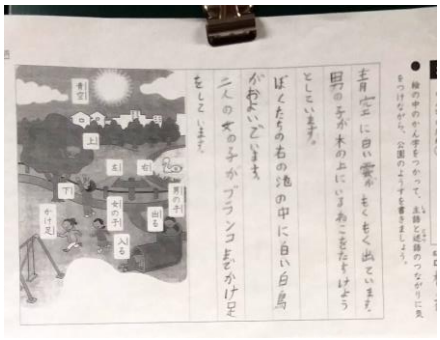


中島氏は、ＣＤ２枚をリリースしておられるジャズピアニストでもあり、バッハの楽譜を左右で違う方向に弾くという変わった演奏や、任意の音からの即興演奏などで、参加者を引きつけておられました。

参加者からは、開発途上国での「ＳＴＥＡＭＳ」教育のあり方や、数理女子としての子育てのあり方等、次々に質問が発せられました。

なお、来る３月９日には、中島氏を再びお招きし、パネルディスカッションが行われる予定です。

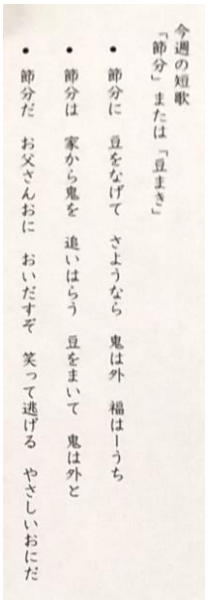
Ｗ 校



初等部２年生では、習った漢字を使って、絵の内容を読み取って文章化するという学習が課題として出ていました。（かん字の広場）よく見ると「土かんの中に入るとすぐに出ました。」という表現がありました。このお子さんは、「出る」と「入る」を使って文章を作るときに、お父さんかお母さんに「これはなんて言うの？」と聞いたのでしょう。「土管」懐かしい響きの言葉ですが、分からない日本語を家庭で調べることそのものが、日本語力アップの鍵になります。だから家庭学習が大切なのです。補習校での授業時数は限られています。教科書を全て網羅するわけにはいきませんから、メリハリを付けてカリキュラムを組んであります。したがって家庭学習のボリュームも増えてきます。

保護者の皆様におかれましては、仕事でもご家庭でも何かとお忙しいとは思いますが、１日のうちで一定時間は必ず日本語で会話することを心がけていただきたいと思います。

右は、６年生が毎週詠んでいる短歌の一部です。今までの学習の成果として、漢字はもちろん、短歌としての言葉のリズムや言い回しなどを繰り返し練習しています。短歌を通して磨いてきた感性で、日常の何気ない出来事の中にも大きな驚きやささやかな喜びを見つけられる、そんな補習校生徒になってほしいと願わずにはいられません。



＜海外子育て講演会・無料個別相談会のお知らせ＞

ニューヨーク補習授業校はじめ４校の日本人学校・補習授業校を運営するニューヨーク日本人教育審議会では、下記の日程で講演会及び個別相談会（無料・先着１０名）を開催いたします。参加ご希望の方は、下記まで、電話またはメールでお問い合わせください。

1.日時　２０１９年3月5日（火）
講演会　10:00AM～11:00AM、無料個別相談　11:00AM～1:00PM
2.場所　ニューヨーク日本人教育審議会教育相談室　(56 Harrison St. Suite 505 New Rochelle, NY. 10801)
3.お申込み・お問い合わせ　電話：(914) 305-2411　E-mail：jecmm@jec-ny.org